当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式
信託期間	2023年3月7日まで(2013年5月28日設定)
運用方針	次世代米国代表株マザーファンド受益証券への投資を通じて、主として米国において取引されている次世代の米国経済の主役となり得ると委託会社が判断した企業の株式に投資を行い、信託財産の成長をめざします。マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主要運用対象	ベ ビ ー 次世代米国代表株マザーファンド ド受益証券を主要投資対象とします。 マ ザ ー 米国の株式を主要投資対象としファンド ます。
主な組入制限	株式への実質投資割合に制限を ベ ビ ー 設けません。 ファンド 外貨建資産への実質投資割合に 制限を設けません。 株式への投資割合に制限を設け マ ザ ー ません。 ファンド 外貨建資産への投資割合に制限
	ファンド 外貨建資産への投資割合に制限 お設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。)等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

※当ファンドは、課税上、株式投資信託として取り扱われます。

運用報告書(全体版)

次世代米国代表株ファンド

愛称:メジャー・リーダー

第26期(決算日:2019年12月9日) 第27期(決算日:2020年3月9日)



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。 さて、お手持ちの「次世代米国代表株ファンド」は、 去る3月9日に第27期の決算を行いましたので、法 令に基づいて第26期~第27期の運用状況をまとめて ご報告申し上げます。

今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い 申し上げます。



三菱UFJ国際投信

東京都千代田区有楽町一丁目12番1号 ホームページ https://www.am.mufg.jp/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用 フリーダイヤル 0 1 2 0 - 1 5 1 0 3 4 (受付時間:営業日の9:00~17:00、

土・日・祝日・12月31日~1月3日を除く)

│ お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

[※]公募株式投資信託は税法上、「NISA(少額投資非課税制度)およびジュニアNISA(未成年者少額投資非課税制度)」の適用対象です。 詳しくは販売会社にお問い合わせください。

ファンドマネージャーのコメント

当作成期の運用で主眼を置いたポイントをご説明させていただきます。

(投資環境についての考え方)

当作成期首においては、米中貿易摩擦を巡り不 透明感が払拭されておらず、世界経済の先行きへ の不安が投資家心理の重石となっていました。し かしながら、米国の景気と企業業績については顕 著な落ち込みはみられず、堅調な個人消費に支え られ、巡航速度の成長を遂げており、また主要国 の中央銀行が総じて金融緩和的な姿勢を強めてい ることも市況の下支え要因になると判断しました。 市況は上昇基調となり、2020年1月には米中貿易 協議の第1段階合意を好感し、更なる上昇となり ましたが、2019年10月以降の株式市況の上昇 ペースが速かったこともあり、この水準から上値 をめざすには更なる好材料が必要と考えるに至り ました。その後は、市況はレンジ内で動くとの想 定の下、銘柄のローテーションを弾力的に行う運 用に努めました。しかしながら当作成期末にかけ ては、新型肺炎の感染拡大による世界的な景気減 速懸念から市況が大きく調整するという想定外の 展開となりました。

(ポートフォリオの構築についての考え方) 当ファンドは、米国の株式を実質的な主要投資

対象とし、値上がり益の獲得をめざし、今後の経 済環境、社会構造に関する見通しを基に、変化に 対応し成長が見込まれる投資銘柄を厳選し、約30 銘柄に投資を行ってまいりました。主として米国 の強みであるインターネット、バイオ、医療機器 などの重要性の高まりや、ミレニアル世代台頭に 伴う小売分野の構造変化を踏まえた新しい企業の 成長に注目しました。同時に、伝統的な老舗企業 でありながら、絶え間ない自己革新により環境変 化に対応する企業にも目を配りました。当作成期 は、引き続き変化が大きかった市況動向に対応し、 適宜銘柄の見直しを行った結果、当作成期首と当 作成期末を比較しますと、7銘柄が入れ替わって います。5 G普及の恩恵を受けると思われる情報 技術業種の「QUALCOMM INC」や保有するコ ンテンツの価値が見直されつつあるコミュニケー ション・サービス業種の「WALT DISNEY CO/ THEIなどの組み入れを行いました。

このような運用を行いましたが、株式市況の下落ならびに「BOEING CO/THE」、「WALT DISNEY CO/THE」等の組入銘柄の値下がり、加えて為替の円高・米ドル安もマイナスの影響となり、基準価額は当作成期首に比べ7.5%の下落となりました。



株式運用部

ファンドマネージャー

西 直人 長田 直樹 安井 陽一郎 村山 信明 加藤 明 森 俊典

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- 一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

〇最近10期の運用実績

24s	kshr	##0	基	準	価	額	(参 考 ダウ・ジョーン	指数) ズ工業株価平均	株式	株式	純 資 産
決	算	期	(分配落)	税込み	メ期産騰	中落 率	(円換算ベース)	期 中騰落率	組入比率	先物比率	純 資 産 額
			円	P	3	%		%	%	%	百万円
18期([2017年12]	月7日)	10,000	1, 26	2	12.6	17, 243	14. 1	92. 9	_	32, 968
19期(2018年3月	月7日)	9, 867		0	△ 1.3	16, 686	△ 3.2	90. 5	_	40, 075
20期(2018年6月	月7日)	10,000	55	4	7.0	17, 586	5. 4	96. 1	_	41,016
21期(2018年9月	月7日)	10,000	28	5	2.9	18, 238	3. 7	90. 9	_	41, 903
22期(2018年12月	月7日)	9, 373		0	△ 6.3	17, 864	△ 2.1	93. 0	_	42, 887
23期(2019年3月	月7日)	9, 527		0	1.6	18, 201	1.9	95. 8	_	43, 904
24期(2019年6月	月7日)	9, 347		0	△ 1.9	17, 720	△ 2.6	95. 8	_	41, 714
25期(2019年9月	月9日)	9, 684		0	3.6	18, 195	2. 7	93.8	_	41, 962
26期((2019年12月	月9日)	10,000	23	1	5.6	19, 315	6. 2	90. 5	_	39, 513
27期(2020年3月	月9日)	8, 753		0	△12.5	16, 751	△13. 3	95. 1	_	33, 084

- (注) 基準価額の騰落率は分配金込み。
- (注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。
- (注) ダウ・ジョーンズ工業株価平均(ダウ工業株30種)とは、ダウ・ジョーンズが米国を代表する30銘柄を選出し指数化したものです。日本では、「ダウ平均」、「NY (ニューヨーク) ダウ」、「ダウ工業株30種」などと呼ばれています。当ファンドは、委託会社等の責任のもとで運用されるものであり、ダウ・ジョーンズは、その運用成果および当ファンドの取引に関して、一切の責任を負いません。ダウ・ジョーンズ工業株価平均(円換算ベース)は、ダウ・ジョーンズ工業株価平均をもとに、委託会社が計算したものです。
- (注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。
- (注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。
- (注) 「株式先物比率」は買建比率 売建比率。

〇当作成期中の基準価額と市況等の推移

決	算	期	年	月	月	基	準	価		額	(参 考 ダウ・ジョーン	指 / <u>ズエ</u>	数 業株価) 平均	株組	7	式 率		物上	式率
								騰	落	率	(円換算ベース)	騰	落	率	桕	人	几 半	九	190 [七 平
				(期 首)		円			%				%			%			%
			201	9年9月	9 日		9,684			_	18, 195			_			93.8			_
				9月末			9,695			0.1	18, 376			1.0			96.8			1
	第26期			10月末			9,972			3.0	18, 792			3.3			96.7			_
				11月末			10, 409			7.5	19, 590			7.7			96. 2			_
				(期 末)															
			201	9年12月	9 日		10, 231			5.6	19, 315			6.2			90.5			_
				(期 首)															
			201	9年12月	9 日		10,000			_	19, 315			_			90.5			_
				12月末			10, 277			2.8	19, 924			3.2			96.9			_
	第27期		20	20年1月	末		10, 413			4.1	19, 982			3.5			96. 4			_
				2月末			9,373		\triangle	6.3	17, 901		Δ	7.3			95.7			_
				(期 末)															
			202	0年3月	9 日		8,753		$\triangle 1$	12.5	16, 751		$\triangle 1$	3.3			95. 1			_

⁽注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

⁽注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

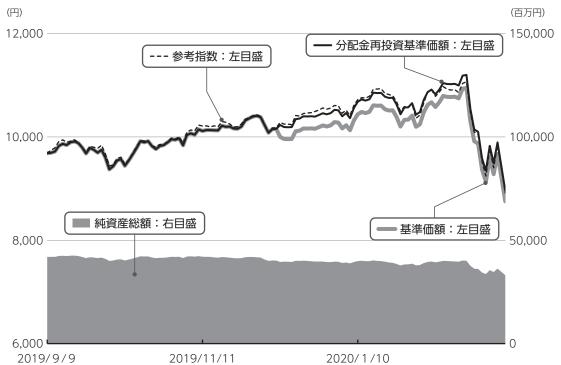
⁽注) 「株式先物比率」は買建比率 - 売建比率。

運用経過

第26期~第27期:2019年9月10日~2020年3月9日

当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第 26 期 首	9,684円
第 27 期 末	8,753円
既払分配金	231円
騰落率	-7.5%

(分配金再投資ベース)

- ※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金 (税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、 ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は当作成期首に比べ7.5% (分配金再投資ベース) の下落となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

組入銘柄(APPLE INCなど)の値上がりが基準価額の上昇要因となりました。

下落要因

米国株式市況全体が下落したことや組入銘柄(BOEING CO/THEなど)の値下がり、為替市況が円高・米ドル安となったことが基準価額の下落要因となりました。

第26期~第27期:2019年9月10日~2020年3月9日

→ 投資環境について

▶ 米国株式市況

米国株式市況は下落しました。

当作成期首より市況は米国の景気と企業 業績に顕著な落ち込みがみられないこと を好感し、上昇基調にて推移しました。 世界経済の先行きへの不透明感について も、主要国の中央銀行が総じて金融緩和 的な姿勢を強めていることにより下支え されるとの見通しが広がり、市況の後押 しとなりました。懸念材料であった米中 貿易摩擦についても、一定の進展をみせ たことが好材料視され、実際に2020年1 目に入り第1段階合意が成立すると市況 はこれを好感し続伸することとなりました。しかしながら2月中旬以降は、新型肺炎の感染拡大がグローバル経済に与える影響に対する不透明感が急速に台頭し、当作成期末にかけて市況は大幅調整となりました。

▶為替市況

当作成期首に比べ、対米ドルで4.6%の円高・米ドル安となりました。特に当作成期末にかけ、新型肺炎感染拡大を背景にリスク回避傾向が高まり、円高が急速に進展しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

▶ 次世代米国代表株ファンド

次世代米国代表株マザーファンド受益証券を通じて米国株式に投資を行いました。

▶ 次世代米国代表株マザーファンド

米国の株式を主要投資対象とし、値上がり益の獲得をめざして運用を行いました。 銘柄選定にあたっては、今後の経済環境、 社会構造に関する見通しを基に、変化に 対応し成長が見込まれる投資銘柄を厳選 し、約30銘柄に投資を行ってまいりました。

主として米国の強みであるインターネット、バイオ、医療機器などの重要性の高

まりや、ミレニアル世代台頭に伴う小売 分野の構造変化を踏まえた新しい企業の 成長に注目し、同時に、伝統的な老舗企 業でありながら、絶え間ない自己革新に より環境変化に対応する企業にも目を配 りました。

基本的には、景気が堅調に推移する環境下において、業績拡大余地の大きい銘柄に着目しましたが、2020年1月以降は、当作成期首からの市況の上昇ペースが速かったことなどから、上値、下値ともに限定的なレンジ内の動きを想定し、銘柄のローテーションを弾力的に行うよう努

めました。

株価水準面での割安感にも留意し、銘柄 選定を行いました。

適宜銘柄の見直しを行った結果、当作成 期首と当作成期末では、7銘柄が入れ替 わりました。

また、企業ごとの業績動向を踏まえつつ、 株価の動きに対応した個別銘柄の組入比 率調整を適宜行いました。

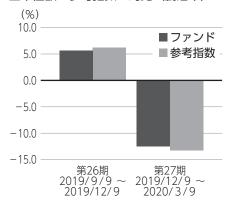
株価が上昇し、やや割高感が高まった 「LAMB WESTON HOLDNIGS INC」 や収益拡大余地が限定的と判断した「VERIZON COMMUNICATIONS INC」などの売却を行う一方で、5G普及の恩恵を受けると思われる情報技術業種の「QUALCOMM INC」や保有するコンテンツの価値が見直されつつあるコミュニケーション・サービス業種の「WALT DISNEY CO/THE」、さらには強いブランド力を維持する「NIKE INC -CL B」などを組み入れました。

第26期~第27期:2019/9/10~2020/3/9

当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。右記のグラフは当ファンド(ベビーファンド)の基準価額と参考指数の騰落率との対比です。 参考指数はダウ・ジョーンズ工業株価平均(円換算ベース)です。

基準価額と参考指数の対比(騰落率)



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算して います。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきました。収益分配に充てなかった利益(留保益)につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、和	光込み
----------------	-----

項目	第26期 2019年9月10日~2019年12月9日	第27期 2019年12月10日~2020年3月9日				
当期分配金 (対基準価額比率)	231 (2.258%)	- (-%)				
当期の収益	162	_				
当期の収益以外	68	_				
翌期繰越分配対象額	152	153				

⁽注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

⁽注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨て で算出しているため合計が当期分配金と一致しな い場合があります。

今後の運用方針(作成対象期間末での見解です。)

▶次世代米国代表株ファンド マザーファンド受益証券を高位に組み入

れる方針です。

▶次世代米国代表株マザーファンド

大きな変化が起こっている分野に注目し、 変化に機動的に対応し、恩恵を受け得る 新しい次世代企業に投資します。現在は、 インターネットやバイオ、医療機器など の分野の重要性の高まり、同分野での新 しい企業の台頭に注目しています。同時 に、絶え間ない自己革新により、環境変 化に対応し続けている伝統的な老舗企業 にも日を向け、より高い投資成果の達成 をめざします。

過去数十年の米国株式市況上昇を支えた 経済規模の大きさと成長力、巨大な個人 消費市場の存在、さらには活発なイノ ベーションと新陳代謝が盛んな経済構造 等は今後も市況上昇の要因になると思わ れます。

新型肺炎の感染拡大がグローバル経済に 与える影響に関して不透明感が台頭、市 況は下落基調となっています。今後も、 市況は感染拡大が景気や企業業績に与え る影響を織り込みにいく動きとなると考 えられますが、一方で、主要国の中央銀 行が、景気の落ち込みを防ぐため、総じ てより緩和的な金融政策へと舵を切って いることは、市況の一定の下支え要因に なると思われます。米国の景気と企業業 績については、予断は許されないものの、 一部企業の業績を除いては顕著な落ち込 みは今のところみられていません。米国 景気が堅調な個人消費に支えられ、巡航 速度の成長を遂げていることと考え合わ せますと、現行水準からの下値自体は限 定的と予想され、戻りを試す展開も期待 されます。

2019年9月10日~2020年3月9日

🌎 1万口当たりの費用明細

百口	第26期~	~第27期	1百日の柳田
项目 	金額 (円)	比率 (%)	項目の概要
(a)信 託 報 酬	80	0.792	(a)信託報酬=作成期中の平均基準価額×信託報酬率× (作成期中の日数÷年間日数)
(投信会社)	(38)	(0.381)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販売会社)	(39)	(0.384)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(3)	(0.027)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b)売買委託手数料	14	0.135	(b)売買委託手数料=作成期中の売買委託手数料÷作成期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株 式)	(14)	(0.135)	
(c)有価証券取引税	0	0.001	(c)有価証券取引税=作成期中の有価証券取引税÷作成期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.001)	
(d)その他費用	1	0.008	(d)その他費用=作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.006)	
(監査費用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	95	0.936	

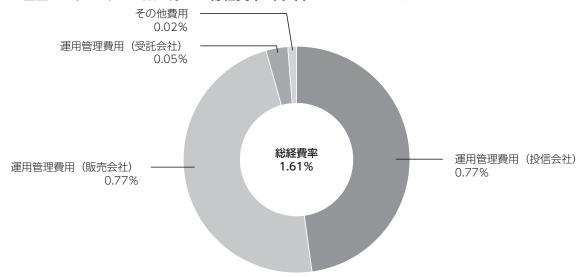
作成期中の平均基準価額は、10,087円です。

- (注) 作成期間の費用 (消費税等のかかるものは消費税等を含む) は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円 未満の端数を含む)を作成期間の平均基準価額で 除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3 位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は1.61%です。



- (注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた 簡便法により算出したものです。
- (注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。
- (注) 各比率は、年率換算した値です。
- (注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

〇売買及び取引の状況

(2019年9月10日~2020年3月9日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

		第26期~第27期							
銘	柄		設	定			解	約	
		П	数	金	額	П	数	金	額
			千口		千円		千口		千円
次世代米国代表株マザー	ファンド	1,	738, 500	3,	861,000	4	, 851, 801	11,	023, 000

〇株式売買比率

(2019年9月10日~2020年3月9日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項	П	第26期~第27期				
世 	目	次世代米国代表株マザーファンド				
(a) 当作成期中の株式売買金	額	56, 338, 465千円				
(b) 当作成期中の平均組入株	式時価総額	42,949,108千円				
(c) 売買高比率 (a) / (b)		1.31				

⁽注) (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

〇利害関係人との取引状況等

(2019年9月10日~2020年3月9日)

利害関係人との取引状況

<次世代米国代表株ファンド>

該当事項はございません。

<次世代米国代表株マザーファンド>

				第26期~	~第27期		
区	\triangle	四八烷炒			主从婚处		
	分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	<u>B</u> A	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	<u>D</u> C
		百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替直物	勿取引	4,060	415	10.2	11, 046	4,060	36.8

平均保有割合 88.9%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱 UFJ信託銀行、モルガン・スタンレーMUFG証券です。

○組入資産の明細

(2020年3月9日現在)

親投資信託残高

Adv.	括	第2	5期末	第27期末				
李白	銘 柄		数	П	数	評	価	額
			千口		千口			千円
次世代米国代表株マザー	・ファンド		19, 285, 427		16, 172, 127		32	, 187, 384

○投資信託財産の構成

(2020年3月9日現在)

15	П		第27期末							
項	目	評	価	額	比	率				
				千円		%				
次世代米国代表株マザーファ	ンド			32, 187, 384		96.8				
コール・ローン等、その他				1, 070, 486		3. 2				
投資信託財産総額				33, 257, 870		100.0				

- (注) 次世代米国代表株マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産(36,236,957千円)の投資信託財産総額(39,097,679千円) に対する比率は92.7%です。
- (注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=102.01円		

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

	項	П	第26期末	第27期末
	垻	目	2019年12月9日現在	2020年3月9日現在
			円	円
(A) 資産			40, 755, 938, 338	33, 257, 870, 608
コ・	ール・ローン等		524, 508, 091	644, 486, 101
次	世代米国代表株マザーファ	ンド(評価額)	36, 878, 430, 247	32, 187, 384, 507
未	収入金		3, 353, 000, 000	426, 000, 000
(B) 負債			1, 242, 903, 875	173, 508, 731
未	払収益分配金		912, 732, 694	-
未	払解約金		165, 560, 224	18, 766, 639
未	払信託報酬		164, 237, 094	154, 389, 757
未	払利息		111	994
そ	の他未払費用		373, 752	351, 341
(C) 純資	産総額(A-B)		39, 513, 034, 463	33, 084, 361, 877
元	本		39, 512, 237, 860	37, 796, 088, 155
次	期繰越損益金		796, 603	\triangle 4, 711, 726, 278
(D) 受益:	権総口数		39, 512, 237, 860 □	37, 796, 088, 155 □
1万	ロ当たり基準価額(C/D)		10,000円	8, 753円

〇損益の状況

			第26期		第27期	
	項	目	2019年9月10)日~	2019年12月10日	~
			2019年12月 9	日	2020年3月9日	
				円		円
(A)	配当等収益		Δ	34, 254	Δ	25, 597
	受取利息			917		196
	支払利息		Δ	35, 171	Δ	25, 793
(B)	有価証券売買損益		2,	289, 980, 186	△4, 54	15, 393, 330
	売買益		2,	481, 919, 328	15	52, 849, 390
	売買損		Δ	191, 939, 142	△4, 69	98, 242, 720
(C)	信託報酬等		Δ	164, 610, 846	Δ 15	54, 741, 098
(D)	当期損益金(A+B+C)		2,	125, 335, 086	△4, 70	00, 160, 025
(E)	前期繰越損益金		Δ	859, 029, 990	30	7, 738, 460
(F)	追加信託差損益金		Δ	352, 775, 799	Δ 31	9, 304, 713
	(配当等相当額)		(247, 231, 312)	(26	88, 449, 615)
	(売買損益相当額)		(△	600, 007, 111)	(△ 58	37, 754, 328)
(G)	計(D+E+F)			913, 529, 297	△4, 71	1, 726, 278
(H)	収益分配金		Δ	912, 732, 694		0
	次期繰越損益金(G+H)			796, 603	△4, 71	1, 726, 278
	追加信託差損益金		Δ	352, 775, 799	△ 31	9, 304, 713
	(配当等相当額)		(248, 779, 809)	(27	1,670,640)
	(売買損益相当額)		(△	601, 555, 608)	(△ 59	00, 975, 353)
	分配準備積立金			353, 572, 402	30	7, 738, 460
	繰越損益金			_	△4, 70	00, 160, 025

- (注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。
- (注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

①作成期首(前作成期末)元本額 43,333,141,312円 作成期中追加設定元本額 4,969,764,975円 作成期中一部解約元本額 10,506,818,132円 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.8753円です。

②純資産総額が元本額を下回っており、その差額は4,711,726,278円です。

③分配金の計算過程

● 万 配並 ▽ F		
項目	2019年9月10日~ 2019年12月9日	2019年12月10日~ 2020年3月9日
費用控除後の配当等収益額	151, 976, 898円	-円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	842, 810, 130円	-円
収益調整金額	248, 779, 809円	271, 670, 640円
分配準備積立金額	271, 518, 068円	307, 738, 460円
当ファンドの分配対象収益額	1, 515, 084, 905円	579, 409, 100円
1万口当たり収益分配対象額	383円	153円
1万口当たり分配金額	231円	-円
収益分配金金額	912, 732, 694円	-円

〇分配金のお知らせ

	第26期	第27期
1万口当たり分配金(税込み)	231円	0円

- ◆分配金は各決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。
- ◆分配金を再投資される方のお手取分配金は、各決算日現在の基準価額に基づいて、みなさまの口座に繰り入れて再投資いたしました。
- ◆課税上の取り扱い
- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金 (特別分配金)」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、 下回る部分の額が元本払戻金(特別分配金)となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- ・個人受益者が支払いを受ける収益分配金のうち普通分配金については配当所得として課税され、原則として、20.315%(所得税15%、復興特別所得税0.315%、地方税5%)の税率で源泉徴収(申告不要)されます。確定申告を行い、総合課税・申告分離課税を選択することもできます。
- ・2020年1月1日以降の分配時において、外国税控除の適用となった場合には、分配時の税金が上記と異なる場合があります。

※法人受益者に対する課税は異なります。

- ※課税上の取扱いの詳細については、税務専門家等にご確認されることをお勧めします。
- ※税法が改正された場合等には、上記内容が変更になることがあります。
- ※NISAおよびジュニアNISAをご利用の場合、毎年、一定額の範囲で新たに購入した公募株式投資信託などから生じる配当所得および譲渡所得が一定期間非課税となります。
- *三菱UFJ国際投信では本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ (https://www.am.mufg.jp/) をご覧ください。



次世代米国代表株マザーファンド

《第14期》決算日2020年3月9日

[計算期間:2019年9月10日~2020年3月9日]

「次世代米国代表株マザーファンド」は、3月9日に第14期の決算を行いました。 以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第14期の運用状況をご報告申し上げます。

運 用 方 針

主として米国において取引されている次世代の米国経済の主役となり得ると委託会社が判断した企業の株式に投資を行い、信託財産の成長をめざします。株式への投資にあ針につては、今後の経済環境、社会構造に関する見通しを基に、変化に対応し成長が見込まれる投資銘柄を厳選し、30銘柄程度に投資を行います。株式の組入比率は原則として高位を保ちます。組入外貨建資産については、原則として為替へッジを行いません。

主 要 運 用 対 象 米国の株式を主要投資対象とします。

主 な 組 入 制 限 株式への投資割合に制限を設けません。外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

〇最近5期の運用実績

決	算	期	基	準	価 期 騰	額 中 落 率	(参 考 ダウ・ジョーン (円換算ベース)	ズ工業権 期	数) 朱価平均 中 落 率	株組入		株 先 物	力比	式率	資	産額
				円	ANG	%		1489	%		%			%	百	万円
10期((2018年3)	月7日)		19, 591		12. 1	16, 686		10.4		98.8			_	41,	283
11期((2018年9月	月7日)		21, 753		11.0	18, 238		9.3		98. 1			_	44,	708
12期((2019年3)	月7日)		20, 862		△ 4.1	18, 201		△ 0.2		98.4			_	48,	004
13期((2019年9月	月9日)		21, 380		2.5	18, 195		△ 0.0		95. 5			_	45,	961
14期((2020年3月	月9日)		19, 903		△ 6.9	16, 751		△ 7.9		97.7			_	36,	538

- (注) 基準価額動向の理解に資するため、参考指数を掲載しておりますが、当ファンドのベンチマークではありません。
- (注) ダウ・ジョーンズ工業株価平均(ダウ工業株30種)とは、ダウ・ジョーンズが米国を代表する30銘柄を選出し指数化したものです。日本では、「ダウ平均」、「NY(ニューヨーク)ダウ」、「ダウ工業株30種」などと呼ばれています。当ファンドは、委託会社等の責任のもとで運用されるものであり、ダウ・ジョーンズは、その運用成果および当ファンドの取引に関して、一切の責任を負いません。ダウ・ジョーンズ工業株価平均(円換算ベース)は、ダウ・ジョーンズ工業株価平均をもとに、委託会社が計算したものです。
- (注) 外国の指数は、基準価額への反映に合わせて前営業日の値を使用しております。
- (注) 「株式先物比率」は買建比率 売建比率。

〇当期中の基準価額と市況等の推移

年	月	目	基	準	価		額	(参 考 ダウ・ジョーン	指 数 ズ工業株価平) 均	株	-	11.	式	株	d./_	T.L.	式
·					騰	落	率	(円換算ベース)	騰落	率	組	入	比	率	先	物	比	率
	(期 首)			円			%			%				%				%
20	019年9月9日	l		21, 380			_	18, 195		-			9	5. 5				_
	9月末			21, 425			0.2	18, 376		1.0			9	7. 1				-
	10月末			22,071			3.2	18, 792	;	3.3			9	7. 1				_
	11月末			23,074			7.9	19, 590		7.7			9	6.7				_
	12月末			23, 348			9.2	19, 924	Ç	9.5			9	7.4				_
4	2020年1月末			23, 694]	10.8	19, 982	ć	9.8			9	7.0				_
	2月末			21, 339		Δ	0.2	17, 901	Δ.	1.6			9	6.6				_
	(期 末)																	
20	020年3月9日			19, 903		\triangle	6.9	16, 751	\triangle	7. 9			9	7. 7				_

- (注)騰落率は期首比。
- (注) 「株式先物比率」は買建比率 売建比率。

〇運用経過

- ●当期中の基準価額等の推移について
- ◎基準価額の動き 基準価額は期首に比べ6.9%の下落となりました。

基準価額等の推移



(注) 参考指数は期首の値をファンド基準価額と同一になるよう指数化しています。

●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

組入銘柄 (APPLE INC など) の値上がりが基準 価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

米国株式市況全体が下落したことや組入銘柄 (BOEING CO/THE など)の値下がり、為替市況が円高・米ドル安となったことが基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

- ◎米国株式市況
- ・米国株式市況は下落しました。
- ・期首より市況は米国の景気と企業業績に顕著な落ち込みがみられないことを好感し、上昇基調にて推移しました。世界経済の先行きへの不透明感についても、主要国の中央銀行が総じて支え融緩和的な姿勢を強めていることにより下支えされるとの見通しが広がり、市況の後押しとなりました。懸念材料であった米中貿易摩擦についても、一定の進展をみせたことが好材料視され、実際に2020年1月に入り第1段階合意成立すると市況はこれを好感し続伸することとな

りました。しかしながら2月中旬以降は、新型 肺炎の感染拡大がグローバル経済に与える影響 に対する不透明感が急速に台頭し、期末にかけ て市況は大幅調整となりました。

◎為替市況

・期首に比べ、対米ドルで4.6%の円高・米ドル安となりました。特に期末にかけ、新型肺炎感染拡大を背景にリスク回避傾向が高まり、円高が急速に進展しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・米国の株式を主要投資対象とし、値上がり益の 獲得をめざして運用を行いました。銘柄選定に あたっては、今後の経済環境、社会構造に関す る見通しを基に、変化に対応し成長が見込まれ る投資銘柄を厳選し、約30銘柄に投資を行って まいりました。
- ・主として米国の強みであるインターネット、バイオ、医療機器などの重要性の高まりや、ミレニアル世代台頭に伴う小売分野の構造変化を踏まえた新しい企業の成長に注目し、同時に、伝統的な老舗企業でありながら、絶え間ない自己革新により環境変化に対応する企業にも目を配りました。
- ・基本的には、景気が堅調に推移する環境下において、業績拡大余地の大きい銘柄に着目しましたが、2020年1月以降は、期首からの市況の上昇ペースが速かったことなどから、上値、下値ともに限定的なレンジ内の動きを想定し、銘柄のローテーションを弾力的に行うよう努めました。
- ・株価水準面での割安感にも留意し、銘柄選定を 行いました。
- ・適宜銘柄の見直しを行った結果、期首と期末では、7銘柄が入れ替わりました。
- ・また、企業ごとの業績動向を踏まえつつ、株価 の動きに対応した個別銘柄の組入比率調整を適 宜行いました。
- ・株価が上昇し、やや割高感が高まった「LAMB WESTON HOLDNIGS INC」や収益拡大余地が限定的

と判断した「VERIZON COMMUNICATIONS INC」などの売却を行う一方で、5G普及の恩恵を受けると思われる情報技術業種の「QUALCOMM INC」や保有するコンテンツの価値が見直されつつあるコミュニケーション・サービス業種の「WALT DISNEY CO/THE」、さらには強いブランドカを維持する「NIKE INC -CL B」などを組み入れました。

〇今後の運用方針

- ・大きな変化が起こっている分野に注目し、変化に機動的に対応し、恩恵を受け得る新しい次世代企業に投資します。現在は、インターネットやバイオ、医療機器などの分野の重要性の高まり、同分野での新しい企業の台頭に注目しています。同時に、絶え間ない自己革新により、環境変化に対応し続けている伝統的な老舗企業にも目を向け、より高い投資成果の達成をめざします。
- ・過去数十年の米国株式市況上昇を支えた経済規模の大きさと成長力、巨大な個人消費市場の存在、さらには活発なイノベーションと新陳代謝が盛んな経済構造等は今後も市況上昇の要因になると思われます。

○1万口当たりの費用明細

(2019年9月10日~2020年3月9日)

Į	<u> </u>	E E		3	当	期	項 目 の 概 要
		Н		金	額	比 率	- Д
					円	%	
(a) 売	買委詢	迁 手 数	料		31	0. 136	(a) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料:期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(株	式)	((31)	(0.136)	
(b) 有	価 証 参	条 取 引	税		0	0.001	(b) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株	式)	((0)	(0.001)	
(c) そ	の(也費	用		1	0.006	(c)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管	費用)	((1)	(0.006)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
合		計			32	0.143	
	期中の平均]基準価額/	は、 2	22, 637	円です	0	

- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに 小数第3位未満は四捨五入してあります。

〇売買及び取引の状況

(2019年9月10日~2020年3月9日)

株式

		買	付			売	付	
	株	数	金	額	株	数	金	額
外		百株	千アメリ	カドル		百株	千アメリ	カドル
国 アメリカ		19, 334		233, 524		22, 035	2	285, 248

(注) 金額は受渡代金。

〇株式売買比率

(2019年9月10日~2020年3月9日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期
(a) 期中の株式売買金額	56, 396, 887千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	42,949,108千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1. 31

⁽注) (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2019年9月10日~2020年3月9日)

利害関係人との取引状況

		四八烷炔			士山城が		
区	分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	<u>B</u>	売付額等 C	うち利害関係人	$\frac{D}{C}$
			との取引状況B	А		との取引状況D	C
		百万円	百万円	%	百万円	百万円	%
為替直物取引		4,060	415	10. 2	11, 046	4,060	36.8

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱 UF J 信託銀行、モルガン・スタンレーMUF G 証券です。

○組入資産の明細

(2020年3月9日現在)

外国株式

Ι		期首(前期末)		当	期	末			
銘	柄	株 数	株	数	評 位	插 額	業	種	等
		VN 3A	7/1	**	外貨建金額	邦貨換算金額			
(アメリカ)		百株		百株	千アメリカドル	千円			
AMERICAN EXPRESS CO		1, 502		1,532	16, 582	1, 691, 567	各種金融		
BOEING CO/THE		954		1,005	26, 371	2, 690, 184	資本財		
VERIZON COMMUNICATIONS INC		2, 499		_	_	_	電気通信も	トービス	
CATERPILLAR INC		1,633		1,287	15, 625	1, 593, 953	資本財		
COCA-COLA CO/THE		1, 187		1,238	6, 841	697, 869	食品・飲料	斗・タバ:	1
CHEVRON CORP		1, 342		1,231	11, 736	1, 197, 197	エネルギー	-	
CME GROUP INC		_		500	10, 813	1, 103, 034	各種金融		
WALT DISNEY CO/THE		_		1,232	14, 201	1, 448, 670	メディア・	娯楽	
DR HORTON INC		2, 344		_	_	_	耐久消費貝	オ・アパ1	ノル
GOLDMAN SACHS GROUP INC		1,096		_	_	_	各種金融		
MCDONALD'S CORP		1, 293		945	18, 804	1, 918, 216	消費者サー	-ビス	
S&P GLOBAL INC		_		315	8, 538	871,001	各種金融		
MERCK & CO. INC.		1, 057		1, 145	9, 411	960, 107	医薬品・バイオテク	ナノロジー・ライ	゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚゚
3M CO		1,090		_	_	_	資本財		
BANK OF AMERICA CORP		4, 086		5, 250	13, 497	1, 376, 905	銀行		
SYSCO CORP		_		1,406	9, 413	960, 319	食品・生活	5必需品/	小売り
UNITED TECHNOLOGIES CORP		_		1, 179	14, 911	1, 521, 172	資本財		
UNITEDHEALTH GROUP INC		1,042		936	26, 578	2,711,298	ヘルスケア	機器・+	トービス
VULCAN MATERIALS CO		319		300	3, 823	390, 004	素材		
WALMART INC		1, 055		830	9, 730	992, 566	食品・生活	5必需品/	小売り
CADENCE DESIGN SYS INC		449		1, 295	8, 382	855, 102	ソフトウョ	-ア・サ	ービス
COSTCO WHOLESALE CORP		190		152	4, 742	483, 828	食品・生活	5必需品/	小売り
NIKE INC -CL B		_		1,628	14, 387	1, 467, 694	耐久消費貝	オ・アパ1	ノル
MICROSOFT CORP		1, 497		983	15, 893	1,621,326	ソフトウョ	-ア・サ	ービス
ASML HOLDING NV-NY REG SHS		188		_	_	_	半導体・当	4導体製油	告装置
INTUITIVE SURGICAL INC		146		125	6, 939	707, 872	ヘルスケア	機器・+	トービス
INTUIT INC		136		183	5, 054	515, 568	ソフトウコ	-ア・サ	ービス
QUALCOMM INC		_		1, 105	8, 560	873, 249	半導体・当	4導体製油	告装置
AMAZON. COM INC		84		78	14, 838	1, 513, 625	小売		
APPLE INC		1,018		738	21, 339	2, 176, 829	テクノロジー・	ハードウェア	および機器
COSTAR GROUP INC		138		53	3, 748	382, 371	商業・専門	月サービ	Z
MSCI INC		403		_	_	_	各種金融		
VISA INC-CLASS A SHARES		1, 439		1,045	19, 265	1, 965, 285	ソフトウェ	-ア・サ	ービス
FACEBOOK INC-CLASS A		334		78	1, 424	145, 345	メディア・	娯楽	
DIAMONDBACK ENERGY INC		461		242	1, 176	120, 065	エネルギー	-	
LAMB WESTON HOLDINGS INC		1, 792		_	_	_	食品・飲料	斗・タバ:	1
VEEVA SYSTEMS INC-CLASS A		467		504	7, 382	753, 094	ヘルスケア	機器・サ	トービス
, 排数·	金 額	31, 246		28, 545	350, 017	35, 705, 330			
合 計	率 >	30	1	30	_	<97.7%>			

⁽注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

⁽注) 邦貨換算金額欄の〈 >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

○投資信託財産の構成

(2020年3月9日現在)

馆	П	当 期 末				
項	Ħ	評	価	額	比	率
				千円		%
株式			;	35, 705, 330		91.3
コール・ローン等、その他				3, 392, 349		8. 7
投資信託財産総額			(39, 097, 679		100.0

- (注) 期末における外貨建純資産(36,236,957千円)の投資信託財産総額(39,097,679千円)に対する比率は92.7%です。
- (注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは 以下の通りです。

1771	Jカドル=102	0.1 EE	
1 / % ') カドル=102.	011111	

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2020年3月9日現在) ○損益の状況

(2019年9月10日~2020年3月9日)

	項目	当期末
		円
(A)	資産	39, 097, 679, 843
	コール・ローン等	1, 700, 253, 824
	株式(評価額)	35, 705, 330, 747
	未収入金	1, 627, 723, 327
	未収配当金	64, 371, 945
(B)	負債	2, 559, 362, 662
	未払金	2, 133, 361, 540
	未払解約金	426, 000, 000
	未払利息	1, 122
(C)	純資産総額(A-B)	36, 538, 317, 181
	元本	18, 357, 894, 861
	次期繰越損益金	18, 180, 422, 320
(D)	受益権総口数	18, 357, 894, 861 □
	1万口当たり基準価額(C/D)	19, 903円

<注記事項>

①期首元本額 21, 497, 721, 553円 期中追加設定元本額 2, 138, 533, 239円 期中一部解約元本額 5, 278, 359, 931円 また、1口当たり純資産額は、期末1.9903円です。

	項目	当 期
		円
(A)	配当等収益	337, 091, 734
	受取配当金	334, 256, 958
	受取利息	2, 921, 401
	支払利息	△ 86, 625
(B)	有価証券売買損益	△ 2, 498, 174, 543
	売買益	3, 094, 451, 523
	売買損	△ 5, 592, 626, 066
(C)	保管費用等	Δ 2, 861, 993
(D)	当期損益金(A+B+C)	△ 2, 163, 944, 802
(E)	前期繰越損益金	24, 463, 930, 430
(F)	追加信託差損益金	2, 602, 206, 761
(G)	解約差損益金	△ 6, 721, 770, 069
(H)	計(D+E+F+G)	18, 180, 422, 320
	次期繰越損益金(H)	18, 180, 422, 320

- (注) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設 定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注) (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額 を差し引いた差額分をいいます。
- ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)

次世代米国代表株ファンド

次世代米国代表株ファンド (FOFs用) (適格機関投資家限定) 次世代米国代表株ファンド (為替ヘッジあり)

外国株式アクティブファンドセレクション (ラップ専用)

合計

16, 172, 127, 070円

1,236,096,183円

841,545,210円

108, 126, 398円

18, 357, 894, 861円